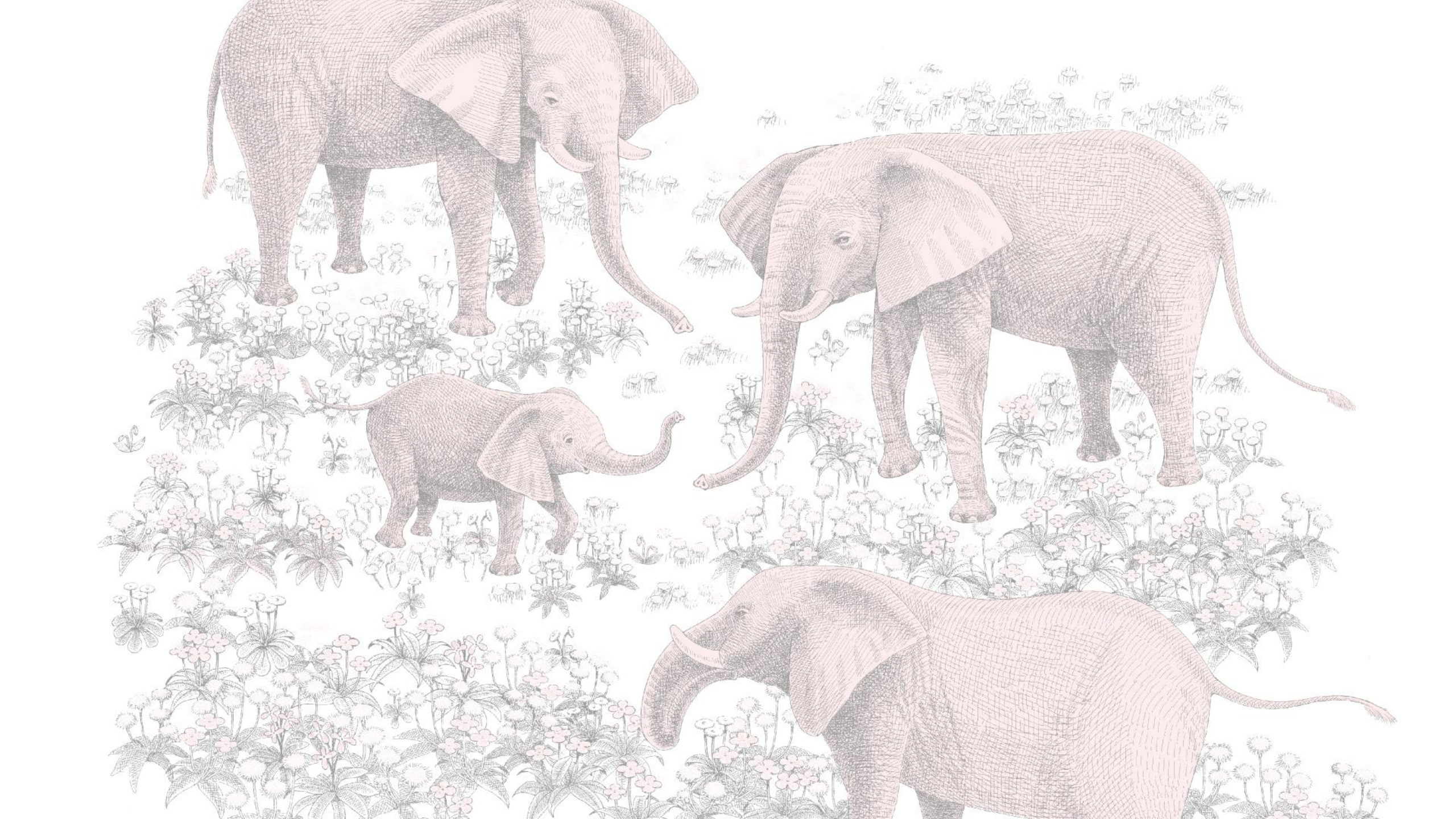
盛岡書房 × さわや書店



子どもたちに

「本」を贈る

本の寄贈冊数 2025年6月現在

1,003冊

本を贈った場所

寄贈施設数
12件

岩手医科大学附属病院

岩手県内の小学校図書館

こども本の森 遠野

子どもたちに

「体験」を贈る

過去に開催したイベント一覧

出版社のトークショー

書店と連携した講座

本に関連したイベント

みんなで、「本」と「体験」を

届ける仕組み

みんなで、「本」と「体験」を届ける仕組み

1

本の循環（回収 / 販売）

2

コラボレーション

3

象と花の関連グッズ

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

1.本の循環（回収 / 販売）

1.本の循環 古本の回収から子どもたちに本が届くまで

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

Step 01

古本の回収

Step 02

オンライン/イベントでの古本販売

Step 03

新刊本の購入

Step 04

本の寄贈/イベントの開催

1.本の循環（回収）

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

回収総冊数

214,846冊

2024年12月現在

回収協力企業・学校

30団体

盛岡信用金庫　クロステラス MORIOKA　JTB　MIZUHO　岩手日報社　DAIHATSU

川徳・アネックスカワトク / UniLife / 第一生命 / JR 東日本 / NTT 東日本 / ワイズコンサルタンツ / ニチイ学館 / 信幸プロテック / 二戸市文化振興協会 / リコージャパン / 損保ジャパン / あいおいニッセイ同和損保 / 三井住友海上あいおい生命保険 / 新生会 / 岩手愛児会 / 手をつなぐ / 盛岡大学 / 盛岡第一高等学校 / 北上翔南高校 / 大船渡高校 / となん支援学校 / 盛岡市役所 / 盛岡市社会福祉協議会

1.本の循環（販売）

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

古本の売り上げの一部が、「本」の購入費や「イベント」の運営費に

オンライン販売

イベント販売

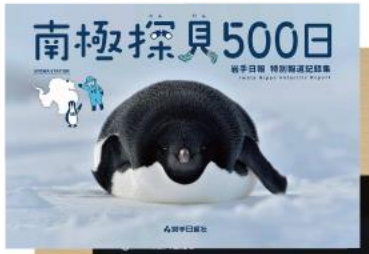
みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

2.企業コラボレーション

2.企業コラボレーション 事例：あいおいニッセイ同和損保 他2社

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

MS&AD あいおいニッセイ同和損保「南極探見500日」オンライン講演会



岩手医科大学附属病院 小児科無菌病棟

開催スポンサー

岩手日報社 講師

NTT東日本 会場整備

2.企業コラボレーション 事例：信幸プロテック

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

SHINKOPROTEC ペーパーフラワーアートイベント

岩手医科大学附属病院 小児科病棟・外来

開催スポンサー

入院中の子どもたちがペイントした用紙を地域のみんなで花に仕立てました

みんなで、「本」と「体験」を
届ける仕組み

3. 象と花の関連グッズ

3.象と花の関連グッズ 事例：象と花のトイレットペーパー

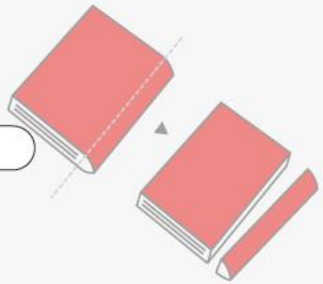
象と花の本からできた
トイレットペーパー

3.象と花の関連グッズ 事例：象と花のトイレットペーパー

象と花のリサイクル本で
トイレットペーパーが
できるまで

1.回収 盛岡書房

2.分解 さわら園・BBM



3.加工 上山製紙

3.象と花の関連グッズ 事例：象と花のトイレットペーパー

岩手

（第3種郵便物認可）

こどもホスピス設立をサポート

盛岡書房

トイレ紙販売し寄付へ

県内企業や福祉施設連携 古本原料に開発

盛岡市本宮の古本販売盛岡書房（高舘美保子社長）などは11月1日、一般社団法人いわてこどもホスピス（工藤美穂代表）を応援する寄付金付きトイレットペーパーを発売する。病気の子どもに本を贈る「象と花」プロジェクトの一環で、県内企業や福祉施設と連携し、古本を原料に開発した。善意で寄せられた本から新たな価値を生み、闘病中の子や家族の支援施設「こどもホスピス」設立をサポートする。

29日に盛岡書房で開始式が行われ、関係者約30人が出席。高舘社長（60）は「仲間の輪が広がっていき、完成した。地域ができることで応援したい」と感謝し、工藤代表（50）は「皆さんの力を借り、こどもホスピス設立に向けて頑張りたい」と誓った。

「象と花」は2021年に始めた。古本を回収・販売した収益で、新品の本を購入して入院中の子どもたちに贈ってきた。

汚れなどで販売できない本も一定数あり、別の形での活用を模索する中、盛岡市の田沢洋紙店（田中康友社長）と一関市の上山製紙（菅原真基社長）の協力を得て、トイレットペーパーとして生まれ変わらせるアイデアが生まれた。試行錯誤を重ね、1年半かけて商品に仕上げた。

古本の仕分けや分解は、盛岡市の障がい福祉サービス事業所さわら園の利用者や市社会福祉協議会の就労事業参加者が担う。同園の小笠原令人園長（50）は「完成品を見て、社会に役立っていると感謝してくれたらいい」と話す。

本年度は1万個を製作。1個165円で、1個につき15円を寄付に充てる。問い合わせは盛岡書房（019・681・3971）へ。企業を中心に販売するが、個人も購入できる。

いわてこどもホスピスを応援するトイレットペーパーの完成を祝う関係者＝29日、盛岡市本宮

トイレットペーパーの販売額の一部を Iwate Kinderhospiz いわてこどもホスピス **へ寄付**

冒険者に
知恵と
力を。

象と花と
盛岡一高M探Bookmark

岩手医科大学附属病院の赤坂真奈美教授から、次のようなお話を伺いました。

「私は岩手県旧川井村の出身で塾や本屋がなく、母子家庭で金銭的な余裕もなかったため、図書館の本が私にとって学びのすべてでした。そのときに読んだ本が医師という道へと導いてくれたといっても過言ではありません。」

このお話をきっかけに、私たちは「ひとり親家庭の子どもたち」に向けて、本を通じた成長の機会を届けたいと考えるようになりました。

読書に興味を持てるような一冊を子供たちに贈り、世界を広げる第一歩となるような取り組みを目指します。

子どもたちに本が届くまで

あなた（サポーター）

「本の贈り物チケット」を購入

子ども（盛岡市在住）

子どもたちが読みたい本を選ぶ

支援機関

子どもたちに本をお届け

協力企業・学校・団体

さわや書店

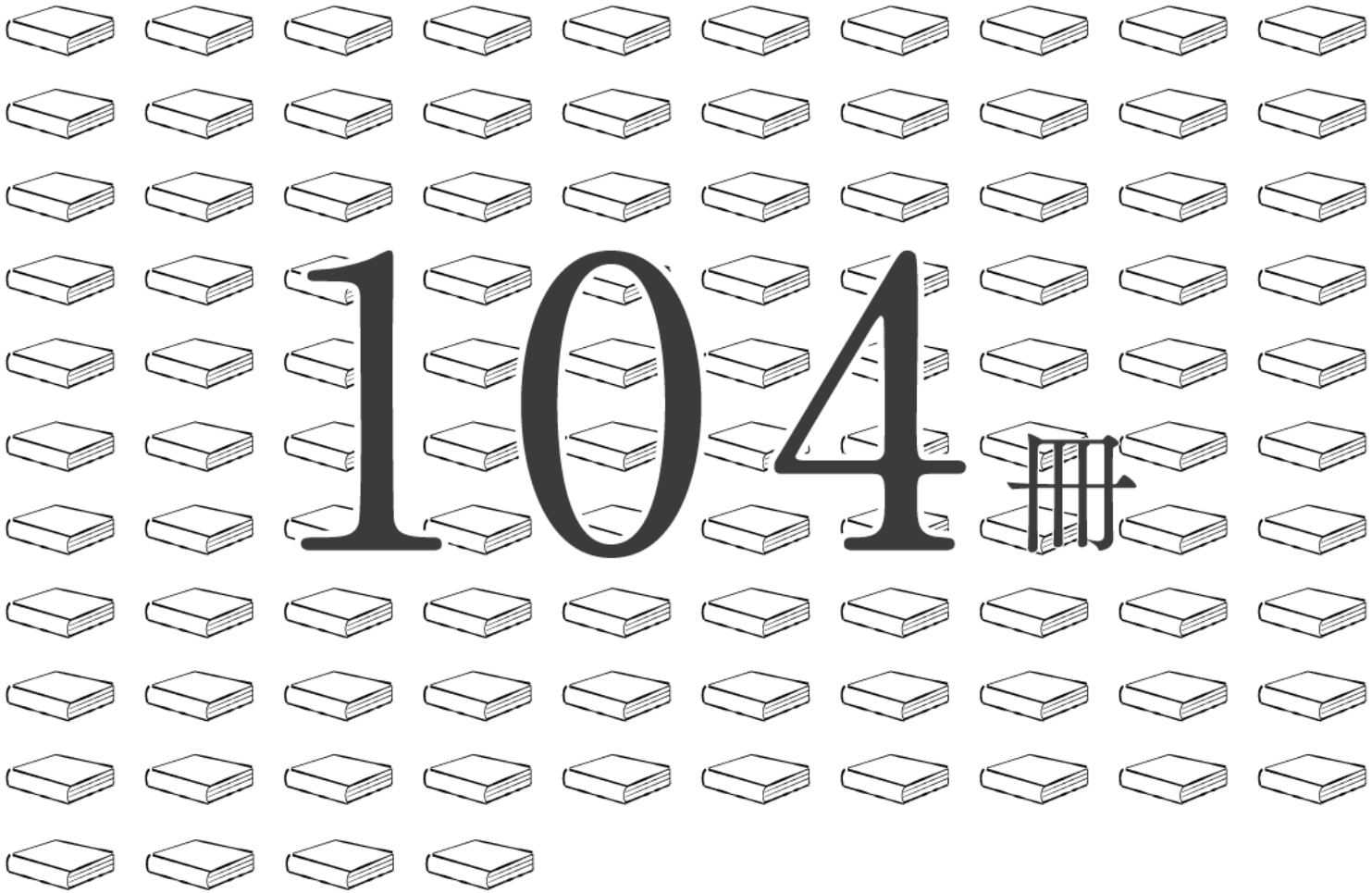
M's EXPO

盛岡市立図書館／都南図書館／環境学習交流センター／盛岡市社会福祉協議会／西部公民館／岩手日報社／信幸プロテック／フラップ岩手／文化企業／トナンカナン／アイリーケアプランサービス／第一生命／川徳／岩手大学／岩手県立大学／盛岡大学／岩手保健医療大学／盛岡第一高校／盛岡第一高校白堊記念会館／盛岡医療福祉スポーツ専門学校

1

寄贈冊数

象と花のオンラインサイトで販売した「本の贈り物チケット」を 87 枚（87冊分）ご購入いただいたことに加え、モリブロや雫石軽トラ市などのイベントにて、寄付つき商品をご購入いただいたことを通じて、子どもたちに合計104冊の本を贈ることができました。



2

寄贈本リスト

子どもたちに贈る本は、盛岡第一高等学校「M 探 Bookmark」、さわや書店、エムズエクスポ盛岡の皆さまが厳選し、「子どもたちにぜひ読んでほしい」と推薦してくださったものです。
この一冊から読書の世界が広がっていくことを願って、心を込めて選書していただきました。

1 盛岡一高 Bookmark
きんぎょがにげた
五味太郎

2 盛岡一高 Bookmark
パンダ銭湯
tupera tupera

3 盛岡一高 Bookmark
なんでも魔女商会
お洋服リフォーム支店
あんびるやすこ

4 盛岡一高 Bookmark
コミック版 世界の伝記
野口英世
中祥人

5 盛岡一高 Bookmark
ヨンケイ !!
天沢夏月

6 盛岡一高 Bookmark
精霊の守り人
上橋菜穂子

7 盛岡一高 Bookmark
しろくまちゃんの
ほっとけーき
わややまけん

8 盛岡一高 Bookmark
ねないこだれだ
せなけいこ

9 盛岡一高 Bookmark
はらぺこ
あおむし
エリック・カール

10 盛岡一高 Bookmark
ざんねんな
いきもの事典
今泉忠明 / 九山真史

11 盛岡一高 Bookmark
今夜、世界から
この恋が消えても
一条岬

12 盛岡一高 Bookmark
あの花が咲く丘で、
君とまた出会えたら。
沙見夏衛

13 さわや書店
きてるのだあれ？
新井洋行

14 さわや書店
はじめての
おつかい
筒井頼子 / 林明子

15 さわや書店
やまの動物病院
なかがわちひろ

16 さわや書店
ルドルフと
イッパイアッテナ
斉藤洋 / 杉浦範茂

17 さわや書店
虹いろ図書館の
へびおこと
櫻井とりお

18 さわや書店
推し、燃ゆ
宇佐見りん

19 Mズ EXPO
だるまさんが
かがくいひろし

20 Mズ EXPO
おしいれのぼうけん
ふるたたるひ / たばたせいいち

21 Mズ EXPO
ノラネコぐんだんと
海の果ての怪物
工藤ノリコ

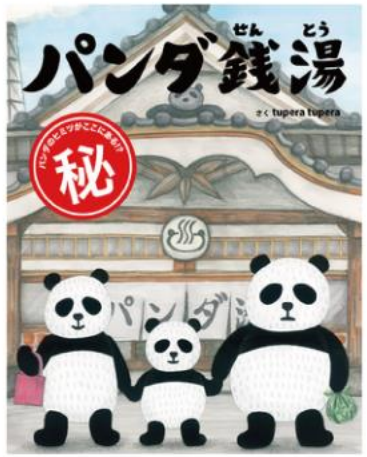
22 Mズ EXPO
5 秒後に意外な結末
ミダス王の黄金の指先
桃戸ハル / usi

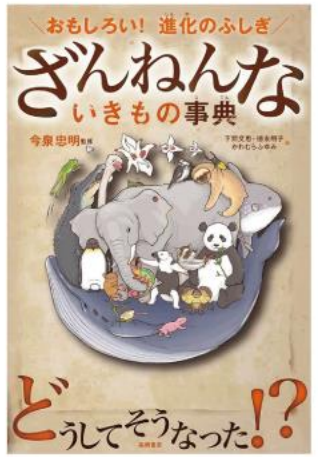
23 Mズ EXPO
杉森くんを殺すには
長谷川まりる

24 Mズ EXPO
君たちは
どう生きるか
吉野源三郎

3 人気順位

子どもたちに人気だった本の１位は『パンダ銭湯』で、104 人中13 人が選びました。２位はテレビアニメにもなり話題となった『ざんねんないきもの事典』(12 票)、３位は長年子どもたちに親しまれている『はらぺこあおむし』(11票) でした。





1 13票 パンダ銭湯 tupera tupera 絵本館

2 12票 ざんねんないきもの事典 今泉忠明 高橋書店

3 11票 はらぺこあおむし エリック・カール 偕成社

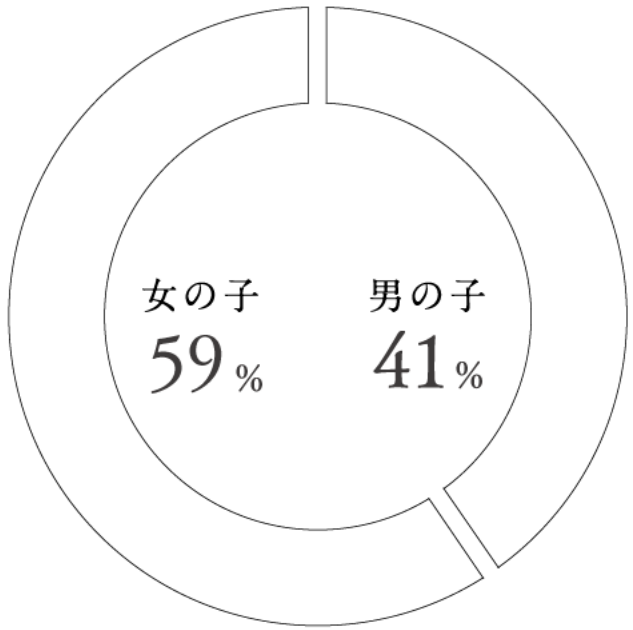
4 9票 しろくまちゃんのほっとけーき / ねないこだれだ 他全４冊

4

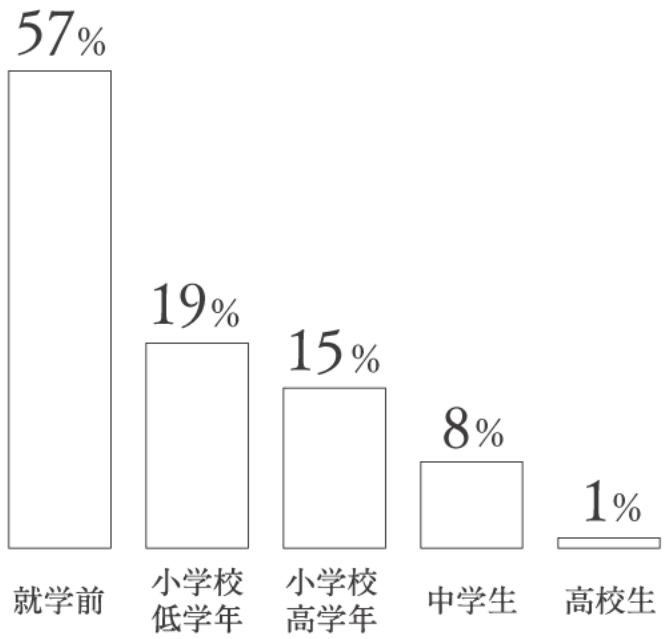
本を贈った子どもたちについて

こちらのグラフは、本をお届けした子どもたち104人の「性別」「学年」、およびアンケートにご回答いただいた保護者の方々のデータです。

＜子どもたちの性別＞



＜子どもたちの学年＞

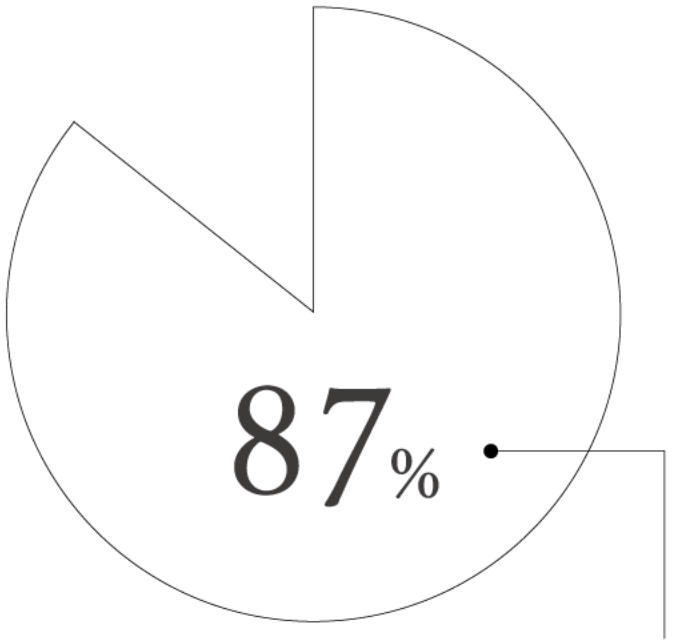


＜アンケートにご回答いただたい保護者＞

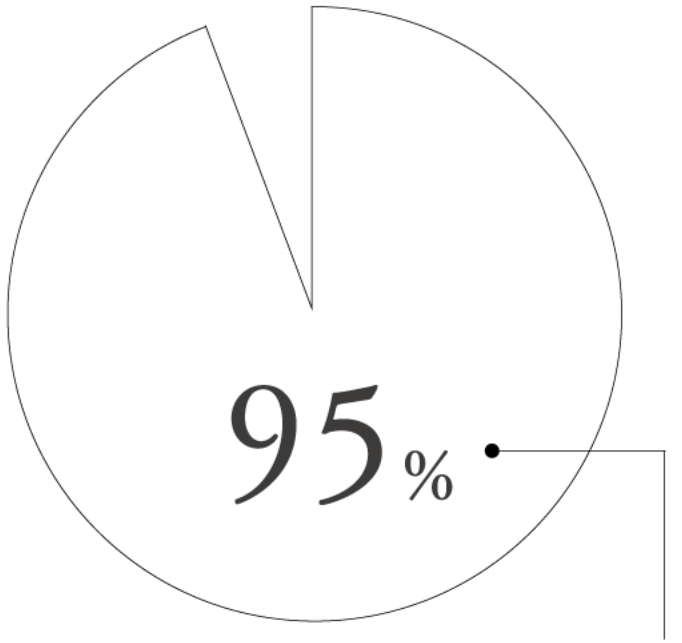
5 子どもたちの読書について

本をお届けしたご家庭の子どもたちのうち、87%が「本が好き」と回答しました。
また、保護者の方々の95%が「子どもには読書習慣を身につけてほしい」とお答えくださいました。

Q. 本を読むのは好き？



Q. 読書習慣を身に付けてほしい？



“贈る”ことで学び、
“読む”ことで育つ。

盛岡第一高等学校の生徒たちは、象と花のプロジェクトの一環として、自ら企画立案し、さまざまな企業や団体と連携しながら、地域に向けた読書推進活動に取り組んでいます。
本を通じて地域の子どもたちに新たな視点や体験を届けるとともに、高校生自身も社会との関わりの中で主体的に体験し学びを深めています。

象のように
子供たちを
育てる街へ

zoutohana.project